

「芸術の秋」

校長 田代敏生



美術工芸部制作「風神雷神図屏風」

「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」の例えのごとく、日没の早さを感じる季節となりました。10日（土）の学校公開・浮世絵鑑賞発表会、並びに16日（金）の70周年記念文化祭には、多数の保護者・地域の方々に来校いただき、ありがとうございました。文化祭では、様々な作品展示、演奏・演技の発表を行うことができました。中でも、体育館後方に展示された美術工芸部制作の巨大な「風神雷神図屏風」の完成度の高さ、6組の劇「ゼロ弾きのゴーシュ」の熱のこもった演技、[桜木SHOW]でのエネルギッシュなダンスなど、たいへん質の高い内容になっていました。さらに、創立70周年記念として、本校の昭和35年度卒業生で、現在、桜木地区自治会連合会会長の



青木正治氏へのインタビュー

青木正治氏にお越しいただき、在校当時の貴重なお話を頂きました。教育課程の編成・実施の都合から、文化祭の開催を中止、あるいは簡素化する学校が多い中で、芸術の秋に相応しい桜木中生の力を十分に発揮してくれた文化祭となりました。

ところで、よく「〇〇の秋」と言います。今年の秋は、この〇〇に何を入れようか考えるのもちょっとした楽しみです。スポーツ、芸術、文化、行楽、豊穰、食欲、読書などが思い出せるところですが、もっと別の、自分だけの秋にするのも良いかもしれません。私の場合、ここ数年、「読書の秋」にして、司馬遼太郎の作品を読み続けているのですが、未

だに全作品制覇まではいきません。『街道をゆく』シリーズが長いのです。文化の日を中心にした2週間、すなわち10月27日（木）から11月9日（水）は、読書週間になります。ご家庭においても、一日20分でも30分でも、家族がそれぞれ好きな本を読んでみてはいかがでしょうか。平成28年度全国学力・学習状況調査における質問の中で、本校の3年生は、一日当たり30分以上読書する生徒は28.8（全国平均28.2）%、また、学校図書館や地域の図書館へ週1回以上行く生徒は、8.2（同7.6）%となっています。皆さんは、いかがでしょうか。



さて、明日、10月1日（土）からは、さいたま市中学校新人体育大会が、市内各会場で始まります。各運動部とも、夏の厳しい練習を乗り切り、新チームでの最初の公式戦になります。自信と誇りを持って試合に臨み、栄光を手にして欲しいと思います。また、月末の31日（月）には、70周年記念演奏会・合唱祭をソニックシティ大ホールで開催します。ぜひ、多くの保護者、地域の皆様に来場いただきたいと思います。